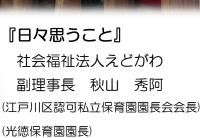
おひさま。





毎年、年末になると新語・流行語大賞の話題がメディアを賑わせます。流行語に象徴されるように言葉は人から人へと伝播します。

保育園ではどうでしょうか。特に語彙のキャンバスが真っ新に近い子ども達は、顕著に身近な人の使う言葉の影響を受けます。子ども達も成長に従って随分と巧みに言葉を使うようになります。子ども達は、そばに来て欲しい時、手招きをしながら「先生おいで」と呼びます。年齢にそぐわない言葉遣いに思わず微笑んでしまうとともに先生の言葉遣いが子ども達に移っていることを実感します。言葉は知らず知らずのうちに周囲へ影響を及ぼすものです。

また、言葉が影響を与えるのは、他者だけではありません。自分の言葉を最もよく聞いているのは自分の耳です。言葉には自分の心でえ変える力があります。

先生の朗らかな言葉が子どもの心を明る

発行: えどがわ

東京都江戸川区一之江 3-2-2 発行責任者:法人事務局

2018年12月25日第23号



くし、明るい心は前向きな努力の源となります。そして前向きな努力は良い結果に繋がります。言葉遣いが変わると、子どもの人生さえ変わっていくのです。日頃から朗らかな言葉遣いを心がけていきましょう。

「言苦」

先日、ある会議に出席した折、参加者から「保育園の先生に自転車で轢かれそうになったよ」と話しかけられ、慌てて職員に話を聞くと、違うという回答が返ってきました。どうして保育園の先生だとわかったのかと聞くと、近所の公園に遊びに来ている保育園の先生だったと言うことでした。歩きスマホも危険ですが、自転車に乗りながらのスマホは大事故に繋がることにもなります。もし何かあったときは、相手の方も本人も大変なことになることも充分認識しておいてください。先生がスマホをしていて、親子で挨拶しても気づいてもらえなかったという話も多く聞くようになっています。

平成 30 年度 東京都功労者表彰・区政功労者表彰

監事 堀江 秀典先生におかれましては、長年にわたり東京都の福祉に貢献された実績が 称えられ、東京都功労者表彰を受賞されました。

評議員 村瀬 光一先生並びに北小岩おひさま保育園 森 佐知子園長におかれましては、 江戸川区民の区民生活と文化の向上に尽くされた功績が称えられ、江戸川区区政功労者表彰 を受賞されました。おめでとうございました。

この度、区政功労者表彰を賜ることとなりました。平成14年に江戸川区私立幼稚園協会、認可私立保育園園長会の設置者、そして江戸川区子ども家庭部で、当時としては画期的であった「養護・教育・家庭支援」を基本とした社会福祉法人えどがわが設立されました。その年に葛西と新堀におひさま保育園が開園、私は葛西おひさま保育園の園長をさせていただきました。

初めにこのお話をいただいたとき、緊張と不安で胸がいっぱいになったことを思い出します。しかし、子ども達と接してきた経験や27年間保育士として培ったものを活かしていければ、私自身も成長できるのではと思い、お話を受けました。初めての園長職であり、新設園だったこともあり、無我夢中で特色を持った保育園づくりを目指し、創意工夫をしながら進めました。何より大切にしたことは、良い保育園づくりのため、現場で直接子ども達と関わる保育士を育てることでした。幼



稚園教諭経験者が半数以上であったため、保育園とは?という今思えば基本的な話し合いを重ね、信頼関係が増したことを覚えています。

平成 19 年に区立東小松川おひさま保育園が民営化 1 号となり、民営化を担う法人としては、正念場を迎えました。当初は民営化に対する理解も難しい部分がありましたが、保育はもとより、全てに対する丁寧な対応で、保護者からの理解を得られるようになり、今では期待されるまでになったことを嬉しく思います。

平成 14 年より 17 年間、園長をさせていただき、また、区政功労者表彰という身に 余る賞を賜るにあたり、すべての方々の助言やご協力があってこそと、心より感謝申し 上げます。ありがとうございました。

北小岩おひさま保育園園長 森 佐知子

おひさま TOPICS

『ハロウィン』東小岩おひさま保育園



子ども達が楽しみにしている行事の 1つ『ハロウィン』。園内をハロウィンの装飾で飾り、子ども達も衣裳を身に付け、ホールに集合します。前半は「かぼちゃちゃちゃ」の曲に合わせてダンスを踊り、中でも「うれしい たのしい か ぼちゃちゃちゃ」の振りが大好きで、歌いながら弾んで踊っています。後半は乳児は各クラスで楽しみ、幼児は異年齢児交流を行いながらゲームコーナーを廻ります。各ゲームコーナーでは、チームでゲームを達成するとスタンプをもらい、スタンプカードがいっぱいになると、黒猫の所に辿り着きます。黒猫に「トリック・オア・トリート」とチームで唱えると・・・。 黒猫からお楽しみの袋をもらい笑顔の子ども達です。今年も可愛く変装し、大盛り上がりの

園長 高石 昌子

おひさま TOPICS

1日でした。

『和みタイム』西篠崎おひさま保育園



西篠崎おひさま保育園では、毎月「和みタイム」を行っています。「和み」という言葉には体や心を穏やかにし、安らぐと言う意味があります。夏は乾いた喉を潤して頂けるように「冷たい飲み物」を をは冷えた体を温めて頂けるように「温かい飲み物」を用意し、日頃、仕事に子 育てに忙しく働いている保護者の方々が、子ども達のお迎え前にホッと一息つきながら、職員や他の保護者の方と話をしたり、時には悩みを相談するなど和気あいあいと過ごしています。保護者の方々からは「この時間、ホッとするんですよね」「毎月、楽しみにしているんですよ」「このような機会をもっと増やしてほしいです」など、楽しみにしているという声もあります。保護者の方々が気軽に立ち寄り、肩の力を抜いて「また、頑張ろう」と思っていただけるように今後も続けていきたいと思っています。

副主任 山本 美智子



おひさま TOPICS

『体育教室』清新おひさま保育園



清新おひさま保育園では、子ども達に 身体を動かすことの楽しさを伝え、怪我 をしにくい身体の土台作りを目的とし て、週1回体育教室を行っています。

体育教室を行って感じることは、跳び箱 や鉄棒など、一生懸命努力し、出来るよう になろうと頑張る姿に心を動かされます。 そして、出来た時の子ども達の笑顔を見る と成長を感じ、職員も笑顔になります。 出来ることがすごいのでなく、頑張ろうと 思う気持ちを持つことの大切さを伝えて いくとともに、これからも身体を動かす楽 しさを伝えていきながら、体育教室を行っ ていきたいです。

保育士 栁沼 翔太

おひさま TOPICS

Ť

『おひさまキッズ』小松川おひさま保育園



月2回行っているおひさまキッズ。運動遊びや季節に応じた制作、夏には園庭で水遊びも行っています。

先月行った運動遊びでは、滑り台や梯子などを組み合わせアスレチックに。お母さんと手を繋いで一本橋を渡り終わると、満足そうな表情をしていました。

お友だちが遊ぶ様子をじっと見て、にこにこ笑っているお子さんも。小さな手でしっかり梯子を掴んで渡るお子さんの姿を見守る保護者の方の視線に、温かさを感じました。おひさまキッズに参加された保護者の方からは「とても楽しそうにお友だちと遊べたので良かったです。また次回も参加したいです。」との感想を頂いています。

お子さんがまだ小さくて活動に参加出 来ない方も、保育園の様子を知って頂いた りお母さん同士のコミュニケーションの 場として活用して頂きたいと思っていま す。

園長 長谷川 やよい



法人給食だより

子どもの生活習慣を見つめてみませんか? ★★★★★★

子どもには規則正しい生活を送ってもらいたいと思っていても、ついつい寝かしつけるのが 遅くなったり、食事の時間が不規則になったりすることがありませんか?

食事は睡眠や運動などの生活習慣と密接に関連しています。

生活習慣を考えるとき、大切にしたい3つの要素があります。

睡眠

睡眠は心身の疲労回復、脳や体を成長させる働きがあります。 午後9時ごろまでに就寝するのが理想です。

運動

食



運動や遊びを通して日中に体をたくさん動かすことで、お腹が き、夜は眠くなるといったリズムが自然と作られていきます。

幼児期は3回の食事と間食(おやつ)で1日に必要な栄養量を摂取します。この3つのバランスを保つことが、子どもが健やかに成長するために大切です。



給食室の人気メニュー"カレーシチュー"

【材料】4人分

(大人2人・子ども2人)

• 豚肉: 300g(2cm 角切り)

じゃがいも:200g

• 人参: 70g

• 揚げ油:適量

・玉ねぎ: 170g

・マカロニ(乾):30g

• 油,にんにく,生姜: 少々

・カレールー:2個

・カレー粉:小1/2

• コンソメ:2個

ホールトマト缶:50g

塩,こしょう:少々

·水:900cc位

• 醤油,砂糖:各小1位



【作り方】

①:鍋にサラダ油を入れ、にんにく、生姜を香りが出るまで炒め、 その中に豚肉角切りを入れ、よく炒める。

②:①の中にくし切りにした玉ねぎを入れ、しんなりするまで炒める。 しんなりしたら乱切りにした人参、じゃがいもを入れ、炒める。

③:②にホールトマト缶、水、コンソメを入れ、野菜、肉が柔らかくなるまでアクを取りながら煮込む。別鍋でマカロニを茹でる。

④:野菜、肉が煮えたら細かく刻んだカレールーを入れ、溶かす。 風味つけにカレー粉を振り入れ、少し煮込む。

⑤:塩、こしょう、醤油、砂糖で味を調える。

おひさま

リレー随筆



私は江戸川区 小松川で、さわや かな風が吹き、ゆ らゆらと揺れる コスモスが咲く 季節に産まれ、ま もなく引越しを

することになり、千葉県船橋市に移り住みま した。私が小さい頃というと、だいぶ昔にな りますが、船橋は今と違って田舎でした。林 の中に家があり、歩いていると蛇が出てきた り、どこから来たのかチャボに追いかけられ、●んでいます。 夜には昼間に仕掛けた蜂蜜に群がるカブト ムシを採り、毎日近所の友だちや弟と自然の 中で走り回り遊んでいました。小学校は歩い て30分もあり、忘れ物をしても取りに帰れ

- ず泣きながら行き、雨が降ると道路と田んぼ
- の境目が分からず良く落っこちて泥だらけ、 そんな幼少期を過ごしました。 近所には沢山 の小さい子もいて、皆で一緒に遊ぶことも多
- く、その頃から保育園の先生になりたいなぁ
- とぼんやり思った記憶があります。

現在、沢山の子どもたちに囲まれて仕事を しております。園ではカブトムシの幼虫やザ リガニを子どもたちと一緒に世話をしてい

- ます。虫を見つけると何故か「園長先生来て
- ごらん!」と呼ばれることが多く、生き物が
- 大好きな園長先生と思われています。そんな 子どもたちと笑い合い明日は何が起こるか
- なと小さい頃に味わった同じ気持ちで楽し

新堀おひさま保育園 園長 向山 良子



保護者のみなさまの声

1歳8か月のときに娘を保育園に預けました。最初は泣きじゃくる娘に不安しかありませんでした。 また、仕事に家事に子育てにと思うようにいかないことばかりで、毎日ヘトヘト。ようやく慣れて きた今では、仕事終わりに連絡帳を読んでは保育園の中の娘の様子に嬉しくなったり。家に帰って 娘をギューッと抱きしめると、仕事で疲れていた心が癒されたり。娘の成長を一緒に見守ってくれ る保育園に入園することができ、娘も私もとても今、幸せで充実しています。これから子育てをし ているうちは不安や悩みは尽きないと思いますが、私は私らしく娘の子育てをしていこうと思いま す。娘が笑顔で保育園に向かうようになり、沢山の愛情を注いでくれる先生方には感謝の気持ちで いっぱいです。 鹿骨おひさま保育園より

もうすぐ 5 歳になる娘は、保育園から帰るとその日の出来事を沢山話してくれます。しょんぼりと して元気がないときには何も言わずにぎゅーっとハグ。そうやってニコッと笑顔になる娘を見てい ると、私も母として最高に幸せな気分になります。そんな何気ない日常の積み重ねの中、保育園で お友だちから沢山の刺激を受け、少しずつ成長していく彼女の姿に私も元気をもらっている毎日で す。こうした実りのある園生活を送ることができるのは、子どもたちを全力でサポートしてくださ る先生方のおかげであると感謝の気持ちでいっぱいです。卒園までの残された貴重な時間を親子で 思いっきり楽しみながら、これからも会話の絶えない家族でいたいなぁと願う日々です。

松島おひさま保育園より



平成最後の年末年始を迎えます。思い出に残る年末年始をお迎えください。 今年もありがとうございました。 編集委員

